

豊川市

議会だより



No. **181**
平成29年6月1日

新しい市議会の構成、決まる	2
過去2番目の大型予算、 多くの課題と市民ニーズに積極的に対応(29年度予算) ...	4
代表、一般質問で14人が市政を問う.....	10



表紙
写真

●コハクチョウ親子(賀茂橋の下)
●平成29年1月28日 鈴木宏文(美幸町)
表紙写真を一般募集しています。裏表紙をご覧ください。

新しい市議会の構成

5月11日に開催された臨時会において、議長を始め、新しい役割が決まりました。



議会選出監査委員
波多野文男



副議長
野本逸郎

本会議の議席

議長
演壇

中村 浩 星川 博文 浦野 隼次 神谷 謙太郎 質問席 中川 雅之 柴田 訓成 倉橋 英樹 八木 月子

平松 八郎 柴田 輝明 堀内 重佳 早川 喬俊 大場 昌克 井川 郁恵 佐藤 郁恵 安間 寛子

榊原 洋二 富田 潤 波多野 文男 山本 和美 松下 広和 野本 逸郎 大野 良彦 小林 琢生 石原 政明 堀部 賢一

今泉 淳乙 中村 直巳 鈴木 義章 太田 直人

就任あいさつ

このたび、5月の臨時議会におきまして、議長の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

市議会として議員の資質の向上、執行機関に対する監視機能の充実、政策立案能力の強化を図り、誠心誠意果たしていく所存です。人口減少、少子高齢化、防災対策等山積する課題に対し、市民の皆様の声をお聞きし「安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指した議会づくりに努めてまいります。

信頼される市議会を目指し全議員で取り組んでいきますので、皆様のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



議長
山本和美

会派

■とよかわ未来（18人）

神谷謙太郎、浦野 隼次、星川 博文、中村 浩之、早川 喬俊、堀内 重佳、柴田 輝明、平松 八郎、野本 逸郎、松下 広和、山本 和美、波多野文男、富田 潤、榊原 洋二、太田 直人、鈴木 義章、中村 直巳、今泉 淳乙

■清風会（5人）

大場 昌克、堀部 賢一、石原 政明、小林 琢生、大野 良彦

■公明党市議団（3人）

柴田 訓成、中川 雅之、井川 郁恵

■日本共産党豊川市議団（2人）

安間 寛子、佐藤 郁恵

■1人会派（2人）

八木 月子、倉橋 英樹

議会運営委員会

議会運営委員会は、議長の諮問的な機関であり、議会運営全般にわたって舵取りする機関です。

その構成は、各会派の議員数に応じて選出され、委員定数は、条例により9人と定められています。

委員長 富田 潤
副委員長 今泉 淳乙
委員 佐藤 郁恵、井川 郁恵、早川 喬俊、堀内 重佳、柴田 輝明、小林 琢生、松下 広和

政策課題調査特別委員会

東三河広域連合及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を調査項目として設置された委員会です。

委員長 柴田 輝明
副委員長 堀内 重佳
委員 八木 月子、柴田 訓成、浦野 隼次、中村 浩之、佐藤 郁恵、大場 昌克、早川 喬俊、平松 八郎、堀部 賢一、松下 広和、富田 潤、中村 直巳

常任委員会

広範多岐にわたり、しかも専門化、高度化していく地方公共団体の事務を合理的、能率的に調査し、審査するために常設している市議会内の部門別の委員会

◎委員長・○副委員長

総務委員会



今泉 淳乙、平松 八郎、山本 和美、大場 昌克
安間 寛子、◎堀内 重佳、○浦野 隼次、井川 郁恵

所管

- 企画部 秘書課、人事課、企画政策課、情報システム課、防災対策課
- 総務部 行政課、財政課、契約検査課、財産管理課、市民税課、収納課、資産税課
- 消防本部 総務課、予防課、通信指令課、消防署

○他の委員会の所管に属さない事項

福祉環境委員会



榑原 洋二、野本 逸郎、小林 琢生、中村 浩之
佐藤 郁恵、◎早川 喬俊、○柴田 訓成、波多野文男

所管

- 福祉部 福祉課、介護高齢課、保険年金課
- 子ども健康部 子育て支援課、保育課、保健センター
- 環境部 環境課、清掃事業課
- 市民病院 診療局、診療技術局、看護局、事務局（庶務課、医事課、経営企画室）ほか

市民文教委員会



中村 直巳、柴田 輝明、石原 政明
太田 直人、◎中川 雅之、○神谷謙太郎、堀部 賢一

所管

- 市民部 市民課、市民協働国際課、人権交通防犯課、文化振興課、一宮支所、音羽支所、御津支所、小坂井支所
- 教育委員会 庶務課、学校教育課、生涯学習課、スポーツ課、学校給食課、中央図書館

産業建設委員会



大野 良彦、倉橋 英樹、富田 潤
八木 月子、◎松下 広和、○星川 博文、鈴木 義章

所管

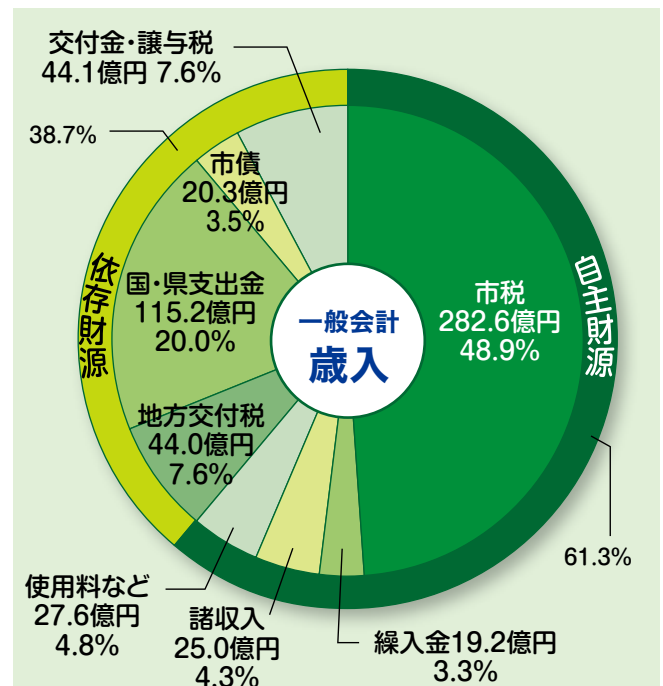
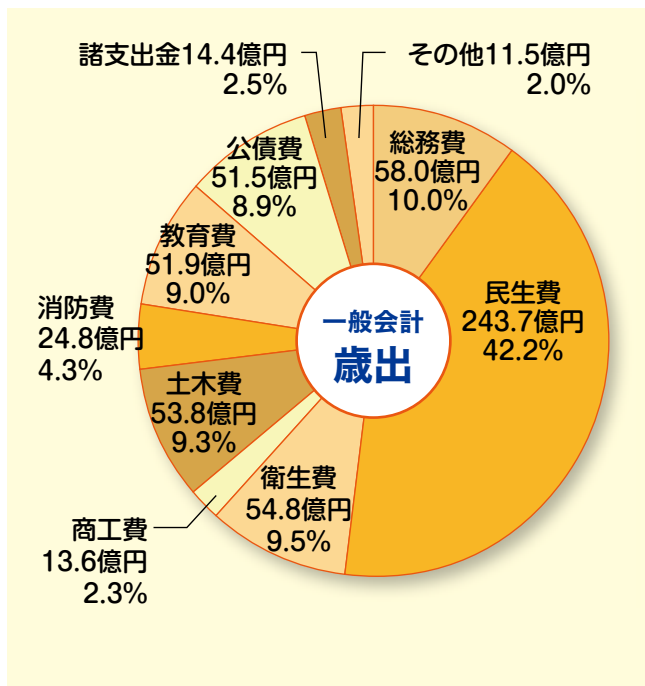
- 産業部 企業立地推進課、農務課、商工観光課
- 建設部 道路維持課、道路建設課、公園緑地課、建築課、都市計画課、区画整理課
- 上下水道部 下水管理課、下水整備課、水道業務課、水道整備課

課題と市民ニーズに積極的に対応

総額1,226億8,945.3万円

平成29年度 一般会計予算

578億円 (前年度比-4.4%)



その他の会計

特別会計

会 計 名	29年度当初(前年度比)
豊川西部土地区画整理事業	2億 8,710万円 (-26.9%)
豊川駅東土地区画整理事業	4億 80万円 (+1.0%)
公共下水道事業	51億 2,720万円 (-4.4%)
農業集落排水事業	1億 80万円 (+2.6%)
公共駐車場事業	1億 370万円 (+21.1%)
国民健康保険	193億 6,300万円 (+0.7%)
後期高齢者医療	23億 7,120万円 (+5.2%)
介護保険	138億 8,410万円 (+9.0%)
土地取得	2億 9,400万円 (-63.0%)

特別会計

会 計 名	29年度当初(前年度比)
一宮財産区管理事業	100万円 (-9.1%)
赤坂財産区管理事業	270万円 (-10.0%)
長沢財産区管理事業	390万円 (-2.5%)
萩財産区管理事業	970万円 (-21.8%)
計	419億 4,920万円 (+1.4%)

企業会計

会 計 名	29年度当初(前年度比)
水道事業	51億 2,139.3万円 (+0.7%)
病院事業	178億 1,886.0万円 (+1.6%)
計	229億 4,025.3万円 (+1.4%)

過去2番目の大型予算、多くの

主な事業



八幡駅周辺地区調査事業

2,120万円

商業施設、文化施設などの用地として検討するため、交通や住環境への調査等を実施。



一宮東部小学校校舎改修事業

3億480万円

老朽化が進んでいる南校舎の大規模改修工事、学校全体のトイレ洋式化等を実施。



スポーツ公園整備事業

7,381万円

野球場の北側にサッカー場、ソフトボール場、多目的広場等を整備。

予算特別委員会

一般会計予算案に対する各会派の総括質疑

ここが聞きたい！ 29年度予算

【問】 29年度一般会計予算の認識は。

【答】 「第6次総合計画」「政策ビジョン」「まち・ひと・しごと

創生総合戦略」を着実に実行し、人口構造問題など急速に変化する社会情勢に対応することとを念頭におき予算編成を進めた。

28年度補正予算へ前倒した事業もあり、28年度予算からは減額となったが、過去2番目の大型予算となり、多くの課題と市民ニーズに積極的に対応した予算である。

【問】 他市と比べ特徴ある事業は。

【答】 保育所入所予約事業、ドローンを導入した防災ドローン航空隊の結成は東三河初の事業であり、ワンコインがん検診、国土強靱化地域計画の策定は県下でも先進的な事業である。

ある。

また、拠点地区定住促進事業において立地適正化計画に連動して

行う新たな補助制度は全国的にも先進的で、さらに平和公園(仮称)

整備は他市にないものである。

【問】 財源の状況と財政健全化の認識は。

【答】 地方交付税や国県支出金が減少する中、市税収入や基金などを積極的に計上し、できる限り市債を抑え、自主財源比率は、前年度比3.3ポイント高い61・3%となった。

歳出では、多くの新規、拡充事業に取り組む一方、縮小、廃止できる事業を積極的に見直し、財源を捻出している。また、市債の元金償還の据え置き期間をなくすなど、財政の健全化に努めている。

【問】 財政調整基金の活用方針は。

【答】 中期財政計画では、普通交付税の縮減、社会保障費の増加、市税収入の伸び悩みが予想されることから、29年度以降5年間の財源不足額を53億円と見込み、この不足分を財政調整基金で対応する。持続可能な財政運営を行っていくため、財政調整基金は75億円程度を維持するが、29年度は17億円を取り崩すため、年度末には83億3千万円程度となる見込み。

②立地適正化計画

コンパクトなまちづくりを目指し、居住機能や医療・福祉などの都市機能の立地、公共交通の充実などに関する方針を示した計画。

①国土強靱化地域計画

自然災害等が起ころうとも機能不全に陥らず、元気で持続する行政機能や地域社会、地域経済をつくりあげるための計画。

豊川家の家計簿(収入)



借金の返済残高
市債(借金)の残高
約476万円

預金の残高
(基金残高)
約162万円

項 目 ※()内は予算の費目		金 額		比 率(前年度比)
		年 間	1 ヵ月	
給 料 (市税、分担金及び負担金、繰越金、諸収入など)	自主財源	約335万円	約27.9万円	58.0% (+3.2)
貯金の取り崩し(繰入金)		約19万円	約1.6万円	3.3% (+0.1)
親からの援助 (地方消費税交付金、地方交付税、 国庫支出金、県支出金など)	依存財源	約204万円	約17.0万円	35.2% (−0.7)
借 金(市 債)		約20万円	約1.7万円	3.5% (−2.6)
収入合計		約578万円	約48.2万円	100.0%

豊川家の家計簿(支出)

項 目 ※()内は予算の費目		金 額		比 率(前年度比)
		年 間	1カ月	
食 費(人件費)	義務的経費	約102万円	約8.5万円	17.6% (+0.7)
医療費(扶助費)		約136万円	約11.3万円	23.5% (+1.3)
借金の返済(公債費)		約51万円	約4.3万円	8.9% (±0.0)
自宅の増改築費(普通建設事業費など)		約64万円	約5.3万円	11.1% (−3.4)
光熱水費(物件費)	その他経費	約98万円	約8.2万円	17.0% (+1.1)
子どもへの仕送り(繰出金)		約50万円	約4.2万円	8.6% (+0.5)
町内会費、生命保険など (補助費、貸付金など)		約76万円	約6.3万円	13.1% (−0.1)
貯 金(積立金)		約1万円	約0.1万円	0.2% (−0.1)
支出合計		約578万円	約48.2万円	100.0%

市の家計簿

市の一般会計予算578億円を
年収578万円の家計簿に置き換えてみました。



原案可決

平成29年度 一般会計予算

本会議 討論

多くの課題に対処しつつ
財政の健全化にも対応

賛成!



子どもの任意予防接種への支援拡大、指定地区への転入者に対する拠点地区定住促進事業費補助、新規工業団地の調査など、定住・交流人口増加を強く意識したものである。また、防災対策、学校教育施設整備に積極的、着実に取り組んでいる。そして、基金の有効活用により市債借入額の抑制を図るなど、多くの課題に対処しつつ、財政の健全化にも対応した予算であり、賛成する。

立地適正化計画などの推進により市周辺部が切り捨てになっている。学校給食費の値上げ、80歳での敬老祝金の廃止などサービスが低下し、地域経済振興の要となる商工費も減となっている。立地適正化計画や公共施設適正配置計画の推進により、御津地区の児童館3館を1館に再編する方針であり、市周辺部の切り捨てにつながっている。また、東三河広域連合での介護保険統合のための負担金、設楽ダム建設の負担金、窓口センターの旅券業務の民間委託料などが計上されており、反対する。



反対!

議 案 審 議

3月定例会は、2月23日から3月22日までの28日間を会期として開かれました。29年度予算を始めとした39議案のほか、同意1件、報告1件が提出されました。そのほか、請願1件が審議されました。また、14名が代表・一般質問を行いました。

一般会計補正予算

原案可決

- 障害者自立支援事業費（1億1,377万8,000円追加）
利用実績の増加に伴い、障害福祉サービス費を追加するもの
- 委託事業費（410万4,000円追加）
稲荷北デイサービスセンターの空調設備の故障に伴い、修繕料を追加するもの
- 管理運営費（1,645万1,000円追加）
燃料価格の高騰により清掃工場運転管理委託料等を追加するもの
- 市内道路整備事業費（3,852万4,000円追加）
都市計画道路城跡市役所線用地の取得に伴い、土地購入費を追加するもの
- 学校管理費（549万9,000円追加）
中部小学校用地の取得に伴い、土地購入費を追加するもの

条例の一部改正

全て原案可決

- 職員定数条例の一部改正
行政需要の増加への対応や医療体制充実に向け、職員の定員配置の上限数を、保育士、保健師、病院事業職員など、総数で24人増とするもの
- 稲荷北デイサービスセンター条例及び音羽福祉保健センター条例の一部改正
稲荷北デイサービスセンター及び音羽デイサービスセンターが実施する介護予防サービス事業を介護予防・日常生活支援総合事業に移行するため、当該事業の対象者と利用料金の基準について定めるもの
- 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
非常勤消防団員が5年以上勤務して退職した場合に支給される退職報奨金について、勤務年数に応じた支給区分を、5年ごとから1年ごとの引き上げ区分に見直すもの

条例の制定

原案可決

○いじめ問題対策連絡協議会及び いじめ問題専門委員会条例の制定

いじめ防止等の推進に関して協議し、関係諸機関の連携を図るため、いじめ問題連絡協議会を設置し、教育委員会の附属機関として、いじめ防止等の対策推進や重大事態について調査審議するため、いじめ問題専門委員会を設置するもの

人事案件

同意

○副市長の選任同意

4月1日をもって、田中義章氏を副市長に選任し、副市長を2人体制とするもの
なお、任期は4年



不採択

請願第6号

設楽ダム建設事業に反対し撤退を求める
意見書の提出を求める請願

【請願者】

設楽ダムの建設中止を求める会

代表 市野 和夫

【請願の要旨】

利水面から、ダムの利水容量のもととなる豊川水系フルプラン水需要想定が、水道用水では、2014年実績の1.67倍と過大な予測となっていることなどから新規水道用水源の開発は必要ないこと。治水面から、2015年の鬼怒川洪水では、巨大なダムの存在にも関わらず、下流で大水害を起こしたことから、上流のわずかな流域面積をカバーするにすぎない設楽ダムに治水を頼ることは危険であること。環境面から、貯水と放流の計画により、河川流量の変化が乏しくなり、三河湾の夏季の海水交換を衰えさせることなどから生態系や漁業資源への影響が深刻になると考えられること。以上の面から、設楽ダムの建設は県民の利益にならず、次世代への負担を大きくします。

以上の趣旨から、愛知県知事に対し、設楽ダム建設事業に反対し、撤退を求める意見書を提出することを請願します。

議決状況の一覧

■3月定例会 ○賛成・×反対

未来一とよかわ未来 (18) 清風一清風会 (5) 公明一公明党市議団 (3) 共産一日本共産党豊川市議団 (2)
無会派一1人会派 (2) ※ () 内は所属人数

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況					議 決 結 果
	未 来	清 風	公 明	共 産	無 会 派	
1 29年度一般会計予算	○	○	○	×	×	可決
2 29年度豊川西部土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
3 29年度豊川駅東土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	×	○	可決
4 29年度公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
5 29年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況					議 決 結 果
	未 来	清 風	公 明	共 産	無会派	
6 29年度公共駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
7 29年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	可決
8 29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	可決
9 29年度介護保険特別会計予算	○	○	○	×	○	可決
10 29年度土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
11 29年度一宮財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
12 29年度赤坂財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
13 29年度長沢財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
14 29年度萩財産区管理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
15 29年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	可決
16 29年度病院事業会計予算	○	○	○	×	○	可決
17 28年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	可決
18 28年度公共駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
19 28年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
20 28年度土地取得特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
21 28年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
22 28年度病院事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
23 個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	×	○	可決
24 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	可決
25 職員定数条例の一部改正	○	○	○	×	○	可決
26 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
27 職員給与条例の一部改正	○	○	○	×	○	可決
28 手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
29 稲荷北デイサービスセンター条例及び音羽福祉保健センター条例の一部改正	○	○	○	×	○	可決
30 国民健康保険条例及び遺児の育成をはかる手当条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
31 工場立地法に基づく準則を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
32 病院事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
33 消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
34 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
35 いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題専門委員会条例の制定	○	○	○	×	○	可決
36 市道路線の廃止	○	○	○	○	○	可決
37 市道路線の認定	○	○	○	○	○	可決
38 損害賠償の額の決定	○	○	○	○	○	可決
39 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	可決
請願6 設楽ダム建設事業に反対し撤退を求める意見書の提出を求める請願	×	×	×	○	○	不採択
同意1 副市長の選任同意	○	○	○	×	○×	同意
報告1 損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	—	—	—	—	—	報告

報告1については、報告のみで採決はありません。

5月臨時会
 ○賛成・×反対
 未来一とよかわ未来（18）
 清風一清風会（5）
 公明一公明党市議団（3）
 共産一日本共産党豊川市議団（2）
 無会派一1人会派（2）
 ※（ ）内は所属人数

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況					議 決 結 果
	未 来	清 風	公 明	共 産	無会派	
40 平和公園（仮称）整備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	可決
同意2 固定資産評価審査委員会の委員の選任同意	○	○	○	○	○	同意
報告2 市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	○	○	○	○	○	承認
報告3 損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	—	—	—	—	—	報告
報告4 変更契約の締結に関する専決処分の報告	—	—	—	—	—	報告
同意3 監査委員の選任同意	○	○	○	○	棄権	同意

報告3、4については、報告のみで採決はありません。

市政を問う

代表・一般質問

堀内 重佳	「29年度施政方針及び予算案大綱」
大野 良彦	「市長3期目にあたり、今までの成果への認識と残りの任期中の目標」「少子高齢化社会への対応」「防災対策」
井川 郁恵	「29年度施政方針並びに予算案大綱」
佐藤 郁恵	「29年度施政方針」「御津地区児童館方針」「子どもの貧困対策」
神谷謙太郎	「本市の公共下水道事業」
富田 潤	「災害対策」「国道23号名豊道路」
中村 浩之	「学校図書館」「安全対策」
大場 昌克	「とよかわブランドの推進」
倉橋 英樹	「建設工事業における現場監督体制」
八木 月子	「障害者福祉の充実」
小林 琢生	「保育園の課題と対策」
石原 政明	「本市の立地適正化計画による活力あるまちづくり」
安間 寛子	「自衛隊員の命を守ること、南スーダンPKO派遣」
早川 喬俊	「旧4町との合併から10年の検証」「これからの豊川市のまちづくり」「義務教育における学力問題」



児童クラブを4カ所増設し、受け入れ児童を拡大

【問】 新年度予算編成で特に留意した点は？

【答】 少子高齢化の進展により、社会保障への対応や、税収の減少による行政サービスの低下が懸念されることから、自立した自治体運営や地方創生の深化、定住・交流施策の推進が重要と考えている。

新年度予算編成で
特に留意した点は？

とよかわ未来代表 堀内重佳



子育て支援を中心に定住人口の増加に向けた施策を重点事業とした。

【問】 子育て支援の新規・拡充事業は。

【答】 子ども向けの任意予防接種の助成、親子通所教室の開設、保育所入所予約制度の実施、放課後児童クラブの拡充などを実施する。

【問】 企業誘致と雇用創出に関する取り組みと今後の考え方は。

【答】 白鳥地区を新規工業用地開発候補地とし、地権者や関係機関等と協議を進めている。また、既存企業の流出防止や小規模企業の雇用を維持することも課題と認識している。



跡地利用が検討されているスズキ豊川工場

【問】 市長3期目での今までの成果の認識と今後の考えは。

【答】 マニフェストを着実に実行し、豊かで暮らしやすいまちを実現してきた。今後も住みやすさ第一のまちの実現に邁進していく。

【問】 八幡地区への大型商業施設進出に対する考えは。

市長3期目での今までの
成果の認識と今後について

清風会代表 大野良彦



【問】 重要な課題と認識しており、市民や関係する団体に十分に説明して進めていく。

【問】 少子高齢化への対応は。

【答】 女性が子育てしながら働きやすいまちの実現と高齢者の健康寿命の延伸に注力する。

【問】 防災対策は。

【答】 災害発生時の拠点となるとともに、平常時の防災教育の拠点施設として防災センターの早期完成に努める。また、自助の重要性の啓発を進めるとともに、避難所運営等を考え、女性防災リーダーの養成に注力していく。



平和公園（仮称）交流施設のイメージ

子育て支援、福祉における 29年度の取り組みの概要は？

公明党市議団代表 井川郁恵



【問】子育て支援、福祉における29年度の取り組みの概要は。

【答】保育所や児童クラブの受け入れ拡大、障害者の相談事業や就労支援の充実、高齢者の相談センターの出張所の新設、生活困窮世帯の中学生への学習支援などを実施する。

【問】今後重点的に取り組む教育施策は。

【答】平和学習の拠点としての平和公園（仮称）の活用策の検討、学力向上のための英語教育や理数教育の推進、情報教育の充実、全小中学校の普通教室への空調設備設置などに取り組む。

【問】財政運営における社会保障への対応は。

【答】社会保障の中心となる民生費が増大している。将来の財政運営を見据え、地域福祉基金の積み増しや、時代の変化や市民要望に応えるため事業の見直しを行う中で財源の確保に努めていく。



再編の対象となっているひろいし児童館

御津地区児童館再編について、 意見調査などを行う考えは？

日本共産党豊川市議団代表 佐藤郁恵



【問】御津地区児童館再編方針について、現利用者の実態や意見調査を行う考えは。

【答】住民説明会には延べ35名の方が出席した。そこでいただいた意見を整理し、今後の方策を検討した後、児童館運営委員会などで意見を伺う予定。

【問】就学援助について、新入学児童生徒学用品費を入学前に支給する考えは。

【答】システムの改修や申請時期等の問題がある。他市の動向を踏まえ、今後検討すべき課題と捉えている。

【問】給付型奨学金制度の充実を国に働きかける考えと本市の施策として検討する考えは。

【答】県と三河の都市教育長会や校長会で要望があることを伝えていく。積極的な情報収集を行うが、現状としては、現在の私立高等学校等授業料補助制度を維持できるよう努力していく。

公共下水道事業 第10次拡張整備計画の概要は？

神谷 謙太郎



【問】第10次拡張整備計画の概要は。

【答】整備期間は37年度までとし、市街化区域では未整備地区のほぼ全域を、市街化調整区域では特定環境保全公共下水道として効果の高い地区を選定した。

【問】維持管理の今後の対策は。

【答】下水道法の改正により創設された維持修繕基準を取り入れたストックマネジメント計画を策定し、予防保全的な維持管理を進めている。

【問】公営企業会計に移行するメリットは。

【答】経営状況を的確に把握し、経営の健全化を図る手段となる。

【問】今後、どのような下水道ビジョンを策定するのか。

【答】本市の課題である整備、維持管理、公営企業会計への移行、災害対策を組み合わせ、財政的なバランスを踏まえ、10年ほど先を目標に策定を考えている。

③ストックマネジメント

既存の施設（ストック）を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な手法のこと。



下水道工事にご協力ください

23号バイパスの未開通の影響と対策について

富田 潤



【問】前芝、豊川為当インター間開通後の交通量の変化は。

【答】豊川為当インター周辺の交通量と大型車の割合が増加した。

【問】周辺道路での事故の状況は。

【答】平成22年以降では、平成25年に新栄町2丁目交差点で1件、



国道23号バイパス豊川為当インター

昨年9月に国道1号の白鳥町交差点で1件と合計2件の死亡事故が発生している。

【問】23号バイパス未開通との因果関係は。

【答】豊橋東バイパス開通後一時的に交通量は増加したが、極端な増加はないので因果関係の特定は困難である。

【問】通過交通の生活道路進入の現状を関係機関に伝えているのか。

【答】交通規制は警察で、道路の対策は管理者である愛知県や本市等で地域の声をともに可能な限りの対策を取っている。今後も関係機関と連携して安全対策に努める。

学校図書館と交通安全対策について

中村 浩之



【問】本市小中学校の蔵書数の学校図書館図書標準の達成率は。

【答】小学校では約95%、中学校では約86%。

【問】学校図書館における新聞の配備状況と、全校に配備する考えは。

【答】全小中学校36校中、小学校7校、中学校4校。各学校に新聞の積極的な活用について伝えていきたい。

【問】交通安全施設の整備状況は。

【答】警察署や地域からの要望に基づき危険

④学校図書館図書標準

公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数を定めたもの。

⑤交通安全施設

道路利用者が安全に道路を通行するために設置される施設で、道路標識、区画線、立体横断施設、防護柵（ガードレール、ガードパイプ）等をいう。

箇所対策を積極的に行っているため、交通安全計画実施計画の目標を多くの項目で上回る実績となっている。

【問】地元要望に対する考え方、実施率は。

【答】優先的に実施しており、28年度は96%となる見込み。

【問】第10次交通安全計画期間の取り組みは。

【答】新たな取り組みとして、自転車の安全利用促進に関する条例化を進めたい。

とよかわブランドの推進について

大場 昌克



【問】とよかわブランドの認定基準は。

【答】本市に所在または生産・加工等されたものが対象で、場所、製造物、文化の3つのカテゴリーに分け評価する仕組みとしている。

【問】東三河広域連合が行うブランド認定との整合性は。

【答】広域連合では広域的な視点から構成市町村の認証事業をさらに推進するものと想定され、整合性は図られると認識している。

【問】ブランド認定したものの今後の展開は。

【答】ブランドエンブレムをウェブサイトや販売品パッケージ、市や商工会議所作成の印刷物に使用し、また、観光物産展などで市内にPRを図っていく。

【問】ブランド認定した特産品の販売場所は。

【答】集中的に扱う拠点的な施設はないが、東名高速道路赤塚PAやJAグリーンセンタールへの協力を検討する。



とよかわブランドの一つ「豊川いなり寿司」

建設工事における 現場監督体制について

倉橋 英樹



【問】現場代理人の常駐義務の緩和の趣旨は。

【答】現場代理人は発注者との連絡に支障がないよう常駐義務があるが、通信手段の発達や厳しい経営環境に配慮し、一定の要件を満たす場合に例外的に常駐しないことができる。

【問】兼務届の未提出や緩和措置を適用できないのに兼務を行った場合の対応は。

⑥現場代理人

一般的に現場監督と呼ばれる。建設工事に関する法律行為を請負人に代わって行う者。作業工程の管理、現場の安全の確保、その他発注者との交渉などを行う。

【問】現場代理人を兼務することによる工事成果物への影響は。

【答】兼務が原因の悪影響は発生していない。

【問】現場代理人の緩和措置拡大の考えは。

【答】今年度、兼務できる工事の対象金額を引き上げた。今後も国や県等の動向を注視しながら検討していく。

障害者差別解消法に対する この一年の取り組みは？

八木 月子



【問】障害者差別解消法に対する取り組みは。

【答】啓発リーフレットを町内会や事業所へ配布。民間事業所や市民向けの講演会を実施。公共施設にループや助聴器等を設置し、また、職員研修を実施した。

【問】聴覚障害者に対する今後の課題は。

【答】聴覚障害者に対する今後の課題は。

【問】手話等ビデオ通話サービスの金銭的な負担、ビデオ通話自体になじみがないことや通訳者の養成が課題。手話通訳者については市と社会福祉協議会で講座を一体的に実施して強化を図る。要約筆記者の養成については他市との連携も視野に検討していきたい。



障害者差別解消法啓発リーフレット

保育園の課題と対策は？

小林 琢生



【問】3歳未満児の入所希望が増える中、施設面の対応は。

【答】3歳以上児の保育室が空いた場合に3歳未満児の受け入れ用にするなど受け皿を増やしている。また、国の補助制度があり、市が認可できる小規模保育事業所の新たな開設について、認可外保育所からの移行を促す。

【問】人手不足が問題である正規保育士を増やす取り組みは。

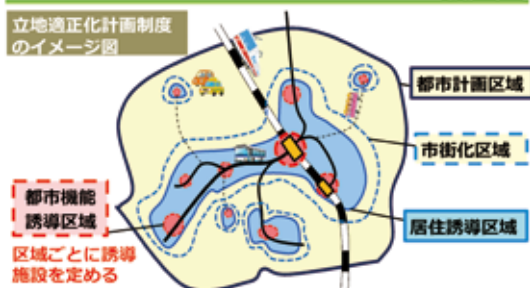
【答】余裕ある駐車場整備、園庭の確保などの意見が出されている。それらの課題と建設時に仮設園舎を整備する場合の費用を含め、効率的な整備方法の検討を進める。



【問】大木保育園と一宮西部保育園の統合に向けての保護者や地域の意見への対応は。

立地適正化計画とは（主な内容）

立地適正化計画制度のイメージ図



【問】立地適正化計画における都市機能施設を誘致するための方策は？

【答】地区外立地に緩やかな規制をする。道路や公共交通など都市基盤の充実により多くの市民でにぎわう拠点とする。施設を立地する事業者に対する国の補助金の紹介を行う。

石原政明



【問】諏訪の日本車両新東工業所有地に高齢者福祉施設、公共施設を整備する考えは。

【答】諏訪地区は高齢者福祉施設も誘導施設としており、公共施設が集積する拠点でもある。今後、警察署や保健所の更新計画や本市のファシリティマネジメントの動向などを注意深く見守りたい。

【問】豊川市開発ビルの経営再建の考えは。

【答】債権の繰り延べ返済、大規模な修繕計画を含む収支計画を策定した。今後も厳しい経営は続くが、全庁一丸となって取り組む。

旧3町の文化施設、14の投票所の廃止について

安間寛子



【問】南スーダンでの戦闘状況を踏まえ、自衛隊PKOの撤退を国に求める考えは。

【答】一地方公共団体が答える事項ではない。

【問】旧4町地域で合併の満足度が下がっている。また、合併後の行政サービスも後退している。市の総括は。

【答】不満足度の増加は、将来への不安が原因の可能性があり対応が必要。職員人件費や市債残高の削減による財政基盤の強化に加え、今後は公共施設の統廃合の効果が想定され、合併効果の検証には時間を要する。



【問】旧3町の文化施設の廃止、14の投票所の削減を見直す考えは。

【答】公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、文化施設は、既存の施設を廃止し新たな施設を建設する。投票所は、国政など同日選挙に対応するため適切な広さが必要であり、見直しを行う。

義務教育における学力問題への取り組みは？

早川喬俊



【問】小中学校における学力向上への具体的な取り組み内容は。

【答】児童生徒には、一人一人のレベルに合った繰り返し学習を行ったり、チャレンジテストにより合格の達成感を味わわせるなどしている。また、教員には、授業で大切にしてほしい内容を記載したリーフレットを配付して授業の改善をしたり、チェックリストで自分の授業を客観的に評価できるようにしている。

【問】これからの英語教育への取り組みは。

【答】28年度に立ち上げた英語力パワーアップ事業の英語教育研修

会、全小学校へのDVD教材の配付、とよかわイングリッシュデイキャンプを継続する。

【問】今後の学校での学習におけるICT機器の活用への考えは。

【答】ICT機器の整備を含め、積極的な活用や教職員の研修も充実させていきたい。



とよかわイングリッシュデイキャンプでの活動の様子

委員会などの開催状況

期日前投票所を4カ所増設

総務委員会 1月20日

期日前投票所の増設及び
投票区・投票所の見直し（案）

期日前投票所の増設と投票区・投票所の見直しについての説明を受けました。

主な質疑は次のとおりです。

【問】投票区内の最長距離1km、有権者2千人未満の投票区を見直し対象とした理由は。

【答】市域全体において偏りなく適切な投票環境を整備するため。

【問】投票所が遠くなり、投票率が下がる懸念への考えは。

【答】身近に投票所があることは理想だが、公正な投票環境の整備や経費の効率的な執行も求められている。

【問】増設する期日前投票所の開設は投票日前3日間であるが、市役所はどうか。

【答】これまでと変わらず行う。

防災対策・空き家対策を進めます

産業建設委員会 1月30日

住宅マスタープラン（案）

住宅マスタープランの見直しについての説明を受けました。

主な質疑は次のとおりです。

【問】見直しの主な内容は。

【答】大規模地震の被害を減少させること、コンパクトシティの形成、空き家対策推進、協働による住まい・まちづくりをポイントに新施策・拡充施策を展開している。

【問】災害にも安心プログラムは、どのような意識で重点プログラムに位置づけたのか。

【答】大規模地震に対する備えや発生後の応急処置や復旧は行政だけでは実現できないため、住宅の耐震化を図るとともに、助け合い・支え合いのコミュニティを形成していく必要がある。

その他に開催された委員会など

1月20日 総務委員会

「公契約と入札・契約制度改革(案)」

「広域受援マニュアルの策定」

「水害、土砂災害、高潮、津波に係る避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し」

「設楽ダム」

1月31日 政策課題調査特別委員会

「まち・ひと・しごと創生総合戦略取組状況報告書」

「東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略」

2月2日 議会協議会

「豊川市開発ビル株式会社の経営状況」

3月8日 総務委員会

「小坂井地区公共施設再編整備基本計画(案)」

3月8日 福祉環境委員会

「豊川市民病院新改革プラン」

「平成29年度市民病院組織改正」

「子ども・子育て支援事業計画の変更」

3月9日 市民文教委員会

「いじめ防止基本方針(案)」

(平成29年第2回定例会)

◆会期日程予定

6月 2日(金) 開会・議案説明 13時30分

6月 7日(水) 一般質問 10時

6月 8日(木) 一般質問 10時

6月 9日(金) 一般質問 10時

6月13日(火) 議案付託・一部採決 13時30分

6月15日(木) 常任委員会(議案審査) 10時

6月16日(金) 常任委員会(議案審査) 10時

6月20日(火) 討論・採決・閉会 13時30分

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

議会だよりの表紙写真募集



議会だよりの表紙に写真を掲載してみませんか。

保育園・小中学校の行事や各種イベントなど、市内で撮影された写真(未発表のものに限ります)を広く募集しています。

なお、撮影された本人または対象物の所有者の承諾が得られているものに限ります。

また、お寄せいただいた写真は、表紙以外の箇所に掲載させていただくことがあります。

【応募方法】

題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までお送りください。

e-mail gikai@city.toyokawa.lj.jp

編集後記

本年度より副市長は二人体制となり行政の推進力が増強しました。市民と議会を結ぶ本紙も、多岐にわたる議会情報をお伝えするため、さらに分かりやすく、読みやすい、そして親しまれる紙面づくりを心掛けてまいります。

編集委員長 中村 浩之

議会だより編集委員会

◎委員長 ○副委員長



大場 昌克、安間 寛子
山本 和美、◎中村 浩之、○中川 雅之、野本 逸郎

広告

財源確保のため、有料広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へ。

わい!わい!
ポイントカード
会員大募集!!

JAひまわりの事業利用でポイントを貯めて、
値引きや商品交換に使う!
入会のお手続きは、JAひまわり各店舗まで!
(グリーンセンター・Aコープ・本支店など)

ひと・夢・いいね。
JAひまわり

お問合先 本店 企画課 豊川市諏訪1-1
☎85・3171

JAひまわり

80th
感謝を込めて80年
地域と共にはばたけ未来

住宅ローン、各種ローンのご相談・年金相談・資産活用等のご相談

かわしん本店 休日相談プラザ
営業日/土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM5:00

詳しくは窓口または休日相談プラザ予約窓口へ
(お問い合わせ先) 0120-18-9808

豊かなくらしのお手伝い
豊川信用金庫

発行/豊川市議会 編集/議会だより編集委員会

お問い合わせ先/豊川市議会事務局

〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地 電話0533-89-2150

豊川市のホームページで
「議会だより」がご覧になれます。

豊川市議会

検索